

第87期

中間報告書

2020年4月1日～2020年9月30日



紅葉の御嶽山

株主の皆さまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症に罹患された方々や感染拡大により困難な生活環境にある方々に心からお見舞い申し上げます。

ここに当社第87期第2四半期累計期間(2020年4月1日から2020年9月30日まで)のご報告にあたり一言ご挨拶申し上げます。当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況が続いております。足元では一部に持ち直しの動きが見られるものの、感染再拡大の懸念もあり、引き続き感染症の国内外経済に与える影響や金融市場の変動等を注視する必要があります。

当社グループ関連のエネルギー業界につきましては、新型コロナウイルス感染症により企業活動や消費活動の回復が依然として鈍く、燃料類の需要の回復が遅いため、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、衛生管理等の最大限の感染予防対策を継続しながら提案営業を再開し営業活動を展開してまいりました。また、「Go To トラベルキャンペーン」等の経済対策により給油所の燃料油及び宿泊・飲食・サービス業・小売業等の業務用燃料の需要が徐々に回復してきております。

青果事業におきましては、2020年4月1日付でえのき茸の生産・販売を行っている株式会社えのきボーヤの株式100%を取得し完全子会社化いたしました。コロナ禍の所謂“巣ごもり需要増”などと合わせて業績は順調に推移しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染症の影響により主力のLPガス及びガソリン等の需要の回復が弱かったこと等により、売上高は10,959百万円(前年同四半期比11.6%減)となりました。

利益面におきましては、営業利益は379百万円(前年同四半期比4.4%減)、経常利益は467百万円(前年同四半期比5.7%減)となりました。親会社株式に帰属する四半期純利益は、固定資産売却益72百万円の計上により348百万円(前年同四半期比5.2%増)となりました。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、時節柄ご自愛のほど心よりお祈り申し上げます。



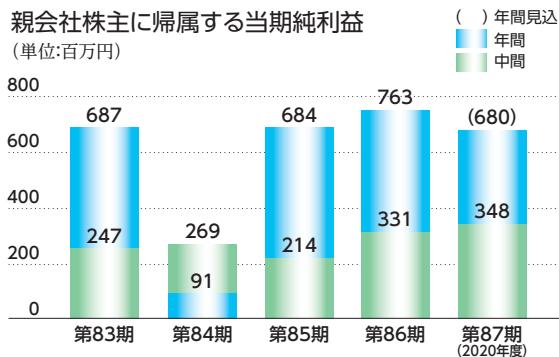
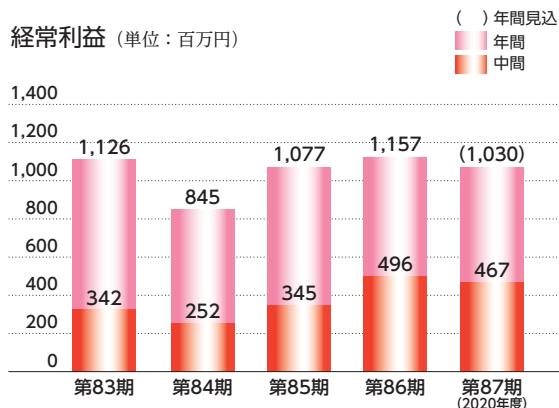
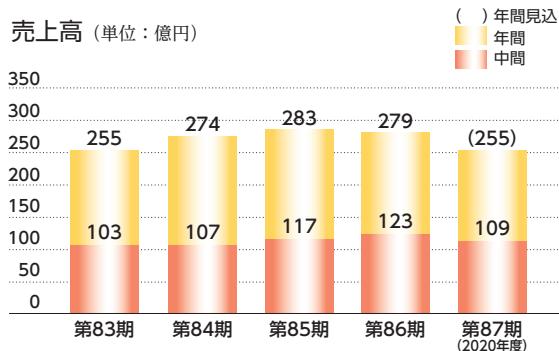
代表取締役社長

塩原規男

2020年12月

営業の概況(連結)

■財務ハイライト



LPG事業におきましては、コロナ禍により業務用、工業用の需要の減少により大きく影響を受けることとなりましたが、家庭用において“サンリンでんき”とのセット割販売を推進し、顧客件数拡大に努めてまいりました。また、特約販売店様との共同企画でありますエコエコキャンペーンを展開し、ステイホームで見直される家庭内のニーズにお応えできる商品と情報の提案に努めることでLPガスの消費拡大に努めてまいりました。

石油事業におきましては、給油所のコロナ禍の影響は大きく、観光シーズンの県内外の移動の制約等により燃料油の販売数量が大きく落ち込みましたが、各種キャンペーンにより給油所の近隣需要家の深耕を図り、需要回復に努めてまいりました。

電力小売事業におきましては、コロナ禍により事業用の電力需要の減少による影響を受けることとなりましたが、「サンリンでんき」の名称でLPガスとのセット割販売、新料金プランの設定と合わせて、長期にわたりご使用いただけるように「長得割キャンペーン」を行い、新規顧客の獲得を積極的に行ってまいりました。

太陽光発電におきましては、環境にやさしい再エネを利用したいというお客様のニーズに応えるよう営業展開を行ってまいりました。また、蓄電池の販売におきましては、社内研修や営業話法のトレーニングを積極的に実施し、卒FITを迎える顧客への提案により、販売実績も増加傾向にあります。

リフォーム事業におきましては、お客様から寄せられる幅広い要望に対し、様々な角度からのトータルアプローチによる的確な提案営業を実施するため、引き続き社内研修を充実させ、お客様の立場に立った営業展開を積極的に実施してまいりました。

財務指標

四半期連結貸借対照表(要旨)

当第2四半期連結会計期間(2020年9月30日現在)
前連結会計年度(2020年3月31日現在)

(単位:百万円)

(単位:百万円)

	当第2四半期 連結会計期間	前連結会計年度
資産の部		
流動資産	10,704	11,067
現金及び預金	6,643	6,129
受取手形及び売掛金	2,329	3,218
商品及び製品	1,153	1,113
仕掛品	33	73
原材料及び貯蔵品	403	381
その他の流動資産	141	152
貸倒引当金	△ 0	△ 1
固定資産	13,962	13,296
有形固定資産	8,684	8,533
建物及び構築物	2,728	2,524
機械装置及び運搬具	951	924
工具、器具及び備品	505	551
土地	4,470	4,512
建設仮勘定	28	21
無形固定資産	287	108
投資その他の資産	4,990	4,654
投資有価証券	4,544	4,176
繰延税金資産	114	103
差入保証金	148	148
その他の投資その他の資産	214	256
貸倒引当金	△ 30	△ 30
資産合計	24,667	24,364

	当第2四半期 連結会計期間	前連結会計年度
負債の部		
流動負債	5,171	5,842
支払手形及び買掛金	1,297	1,911
短期借入金	2,827	2,814
1年内返済予定の長期借入金	86	20
未払法人税等	181	259
賞与引当金	166	233
その他の流動負債	613	603
固定負債	2,008	1,403
長期借入金	611	63
退職給付に係る負債	643	658
役員退職慰労引当金	202	246
資産除去債務	159	158
繰延税金負債	183	69
その他の固定負債	207	206
負債合計	7,180	7,245
純資産の部		
株主資本	16,592	16,489
資本金	1,512	1,512
資本剰余金	1,248	1,248
利益剰余金	13,843	13,741
自己株式	△ 12	△ 12
その他の包括利益累計額	894	628
その他有価証券評価差額金	912	664
退職給付に係る調整累計額	△ 17	△ 35
非支配株主持分	0	0
純資産合計	17,487	17,118
負債純資産合計	24,667	24,364

財務指標

四半期連結損益計算書(要旨) (第2四半期連結累計期間)

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年9月30日まで)
前第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)

(単位:百万円)

	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
売上高	10,959	12,396
売上原価	7,645	9,148
売上総利益	3,314	3,247
販売費及び一般管理費	2,934	2,850
営業利益	379	397
営業外収益	133	137
営業外費用	45	38
経常利益	467	496
特別利益	72	—
特別損失	—	—
税金等調整前四半期純利益	540	496
法人税等	191	165
四半期純利益	348	330
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	348	331

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年9月30日まで)
前第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)

(単位:百万円)

	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	838	957
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3	△488
財務活動によるキャッシュ・フロー	△274	△369
現金及び現金同等物の期末残高	4,526	4,734

株式の状況 (2020年9月30日現在)

■株式の状況

① 発行可能株式総数	40,000,000株
② 発行済株式の総数	12,300,000株
③ 1単元の株式の数	100株
④ 株主数	792名

■上位株主

株主名	持株数(百株)	出資比率(%)
株式会社ミツウロコグループホールディングス	16,781	13.7
リンナイ株式会社	7,120	5.8
株式会社八十二銀行	5,750	4.7
ENEOSホールディングス株式会社	5,000	4.1
曾根原 充 夫	4,676	3.8
株式会社長野銀行	4,580	3.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (管理信託口79212)	3,520	2.9
須 澤 孝 雄	3,460	2.8
長野県信用農業協同組合連合会	2,250	1.8
田 中 郁 子	2,122	1.7

(注) 出資比率は、自己株式195百株を控除して計算しております。

■分布状況

所有者別の株式分布状況

所有者	持株数(百株)	出資比率(%)
個人・その他	66,048	53.7
金融機関	20,648	16.8
その他の国内法人	35,494	28.8
自己株式	195	0.1
その他	614	0.5

会社の概要 (2020年9月30日現在)

- 社 名/サンリン株式会社
- 設 立/昭和9年12月19日
- 資 本 金/15億1,280万円
- 従業員数/533名(グループ人員)
- 事業の内容/石油製品、LPガス、一般高圧ガス、
煉炭・豆炭の製造販売、電力販売
住宅設備機器の販売、リフォーム事業、
太陽光発電等の環境事業、損害保険事業

■役員状況 (2020年9月30日現在)

取締役会長	柳 澤 勝 久
代表取締役社長	塩 原 規 男
常務取締役	百 瀬 久 志
社外取締役	田 島 晃 平
取締役	高 野 朗
取締役	小 原 正 彦
取締役	氣賀澤 隆
取締役	熊 井 一 浩
常勤監査役	矢 口 秀 明
常勤監査役	山 澤 信 秀
社外監査役	山 根 伸 右
社外監査役	井 口 秀 昭

■子会社等 (2020年9月30日現在)

- 三鱗運送株式会社(一般貨物自動車運送事業、貨物運送取扱事業)
- ウロコ興業株式会社(管工事業)
- サンエネック株式会社(LPガス容器等賃貸業、不動産業)
- サンリンI&F株式会社(水製造卸、冷蔵倉庫業)
- 株式会社一実屋(青果卸売業)
- サンネックスパワー駒ヶ根株式会社(太陽光発電事業)
- 株式会社えのきボーヤ(えのき茸の生産・販売)
- 有限会社松野燃料(LPガス・燃料類販売)
- 新潟サンリン株式会社(燃料等卸小売業)※持分法適用関連会社

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	毎年3月31日（ただし、中間配当を行う場合は9月30日）
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所 公告の方法	東京証券取引所JASDAQ市場 電子公告により行う 公告掲載URL http://www.sanrinko.co.jp/ （ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）

【お 知 ら せ】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

営業拠点



UD FONT
by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

この報告書は、環境に優しい植物油インキを
使用して印刷しています。